

初任者研修に係る校外研修「授業参観」(小学校)

授業参観・講話・演習を通して、ねらいが明確な授業の組立て方や指導の在り方等について理解を深め、教師としての指導力の向上を図ることを目的に、平成28年6月9日、竹田教育事務所管内の小学校初任者2名を対象に、初任者研修に係る校外研修「授業参観」を実施しました。

<研修内容>

- 1 講話 「初任者に伝えたいこと」
講師 豊後大野市立百枝小学校 佐藤和生 校長
- 2 説明 「提案授業の見方と授業記録のとり方」「本日の授業について」
- 3 授業参観 「国語」(6年) 学力向上支援教員による授業を参観
豊後大野市立百枝小学校 阿南吉浩 教諭
- 4 協議1 「授業参観から学ぶ指導技術」
- 5 協議2 「これまでの授業実践における課題について」

学力向上支援教員 阿南吉浩先生の授業を参観。



授業を参観した後、学ぶべき指導技術を初任者が分析している様子です。



<初任者の感想>

- 佐藤校長先生の実体験をもとにしたお話だったので分かりやすく、また取り入れたいと思う点が沢山ありました。1つ1つ日頃の自分の指導などを振り返っていききたいと思います。
- 目指すところはここなのかなと感じるハイレベルな授業で圧倒された。細かな配慮、手立て、子どもの素晴らしい姿、どれをとっても、これから目指して、こんな風にしてみたいという授業でした。
- とてもレベルの高い授業も観ることができ、そのあとに授業の振り返りをする事で、より自分の力になった1日でした。今日学んだことを明日から全て出すということはできませんが、少しずつ子どもたちと向き合う力にしていきたいと思います。
- 密度の濃い1日でした。学ぶことの多い1日でした。目的を持って取り組むということから始まり、根拠のある授業をして欲しいという終わり方で、私たちの活動は常に山の頂上を明確にして取り組まなければいけないと感じました。

<最後に> 竹田教育事務所としては、今回の研修を通して学んだことを、初任者が日々の授業実践に生かすことを期待しています。「専門的知識をもち、実践的指導力のある教師」になることをめざし、今後も、新大分スタンダードに基づいた授業づくり及び授業実践を支援していきます。